

指導の手引き 10 職業②

<b>doctor</b>	最初の do-にアクセント。	<b>医者</b>
英語らしい音を出すコツ	「ダ」というつもりで開いた口の形のまま「ド」と発音する。「ド・ク・ター」と3音節にせずに、docとtor の2音節になるように発音する。	
文法的な注意事項	数えられる名詞。	
文化的な情報、応用表現など	She is a doctor. と言えば「彼女は医者だ」という意味に取るのが普通だが、Dr. Brown のように苗字の前に付けると「ブラウン博士」と言うように、称号になる。	

<b>farmer</b>		<b>農家</b>
英語らしい音を出すコツ	アメリカ英語では「アー」の音に、舌をそらせて r の音を響かせる。	
文法的な注意事項	数えられる名詞。	
文化的な情報、応用表現など	farmer は農業を職業とする人。農業をする人が住む家は farmer's house と言う。 I see a farmer's house. 「農家が1軒見える」	

<b>fire fighter</b>	両方の fi にアクセント。	<b>消防士</b>
英語らしい音を出すコツ	両方の f は、しっかり上の歯で下唇をかんで発音する。	
文法的な注意事項	数えられる名詞。	
文化的な情報、応用表現など	文字通りでは「火事と闘う人」という意味。	

<b>figure skater</b>	fi- と ska- の両方にアクセント。	<b>フィギュアスケート選手</b>
英語らしい音を出すコツ	アメリカ英語では「フィギュア」、イギリス英語では「フィガ」と発音。	
文法的な注意事項	数えられる名詞。	
文化的な情報、応用表現など	もともと、スケートで滑りながら氷上に図形 (figure) を描く競技だったので、こう呼ばれた。	

<b>flight attendant</b>	fli- と tend の両方にアクセント。	<b>客室乗務員</b>
英語らしい音を出すコツ	f は上の歯で下唇をかんで発音し、l は f の直後に、舌先を上歯の裏に押しつけるようにする。	
文法的な注意事項	数えられる名詞。	
文化的な情報、応用表現など	cabin attendant とも言う。	

<b>floist</b>	flo- にアクセント。	<b>花屋</b>
英語らしい音を出すコツ	l が r にならないよう、舌先を上歯の裏に押しつけるようにする。	
文法的な注意事項	数えられる名詞。	
文化的な情報、応用表現など	花屋の店主、または店員のこと。店ではない。	

<b>hero</b>	he-にアクセント。	<b>ヒーロー</b>
英語らしい音を出すコツ	イギリス英語では「ヒアロウ」、アメリカ英語では「ヒロウ」と発音する。語尾の o は唇を丸めながら「オウ」と発音する。	
文法的な注意事項	数えられる名詞。複数形は heroes と綴る。	
文化的な情報、応用表現など	hero とは元来「英雄」のこと。スポーツ界で皆が憧れる選手も hero であり、アニメや映画、ドラマの特撮ヒーローは superhero (su-にアクセント) と呼ぶ。従来は男だけを指す語だったが、現在は男女を問わず用いる。ただし、映画やドラマの主役の男性と女性は、今でも hero, heroine 「ヒロウイン」と呼ぶのが普通。	

<b>king</b>		<b>王様</b>
英語らしい音を出すコツ	ing は、息が鼻へ抜ける音なので、gで止めた息を吐かないこと。	
文法的な注意事項	数えられる名詞。	
文化的な情報、応用表現など	血統によって受け継がれる君主のこと。ただし日本の天皇の英訳には、emperor を使う。	